

目的

- 東京にスタートアップ・エコシステムのグローバル拠点都市としての地位を確立
 - 国際競争力の強化、スタートアップの創出や成長、ひいては東京の経済の持続的な発展を実現
 - イノベーションを社会に実装し、地域に還元

特色

- 東京の集積（国内トップ大学の約3割、Fortune Global500企業の所在数世界2位）を活かし、**新たなつながり**を生むプラットフォームを形成
- 東京都心部を核として、「**グレーター東京**」としてハブ&スポークの形で連携の輪を都外拠点にも拡大。国や海外拠点と連携し、エコシステムをさらに拡充

つながり創出

多様なプレイヤーをネットワーク
大企業から中小まで幅広い参画を得て、
新たなつながりを創出
オープンイノベーションを推進

情報共有・基盤強化

多様な資源の実態を
把握、情報共有。タイムリーに
情報が届くサポートを実現

見える・魅せる東京へ

東京のスタートアップ・エコシステムを広く発信。
中からも外からもビジブルに、海外
スタートアップ・投資を惹きつける東京へ

国との連携

グローバル拠点都市として日本の
成長戦略に貢献。
タイムリーな規制緩和や施策を提案要求、
海外PR等へも協力

広域連携のイノベーション・ハブ

東京圏の拠点都市との連携により、
幅広い機能を実現

「点」×「深さ」のディープ・エコシステム：

個別分野に特化し、各分野に精通した先進的プレイヤー同士をつなぐことでイノベーションを創出

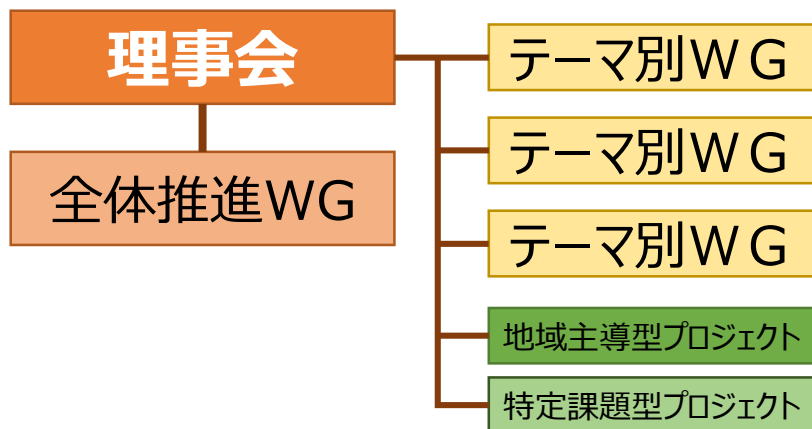
「面」の汎用エコシステム：

スタートアップと企業・個人・大学等の相互連携を強化、データの活用を促進、広域なプラットフォームを整備

スケジュール

- 19年12月20日 設立準備会にコンソーシアム規約・設立構想の決議
- 20年1月22日 コンソーシアム設立会合開催・プレス発表
- 20年2月中旬 内閣府によるグローバル拠点都市公募のため計画を提出
- 20年3月末 グローバル拠点都市選定（予定）
- 20年4月～ コンソーシアム活動本格開始

体制



※今後、計画策定の中で検討

正会員・賛助会員

主なメンバー（下線は理事）

- 東京都（事務局）
 - 都内民間事業者（東急、東急不動産、三井不動産、三菱地所、森ビル）
 - 経団連、経済同友会、新経連、東商、日本VC協会、ジエトロ、東京証券取引所）
 - 大学（東京大学、慶應義塾大学、早稲田大学）
 - VC、スタートアップ（上場済を含む）、都内自治体
 - 賛助会員（サポーター）
- ※広域連携関連団体（川崎市、茨城県・つくば市）

具体的取組・検討項目（案）

- 官民資源の洗い出しと共有（東京スタートアップ支援メニューマップの作成、情報プラットフォームの設置）
- コンソーシアム内のコミュニケーション創出（大規模イベントの開催、交流の場の提供）
- 有望スタートアップ（ユニコーン予備軍等）の集中支援（東京版J-Startup等）
- 実証フィールドのコーディネート
- 国内外へのPR
- 国等への要望活動・政策提言